

わかくさ

平成25年(2013年)4月25日発行

機関誌『わかくさ』 第24号

社会福祉法人 栄光会

児童養護施設 若草園

IP7ホ 050-3344-8850 Tel (0880)33-0247

Fax (0880)33-0518

〒787-0155 高知県四万十市下田2211

発行：福留久美、編集：瀬戸雅弘



▶ 各学校の担任からの祝辞をいただく卒園児達。

▶ なごやかな会食の時それぞれのカメラで何枚も記念撮影を…



3.9 卒園式

来賓25名 児童43名 職員32名、合計100名で5人の卒園生の門出をお祝いした。



巻 頭 言



理事長 小椋茂昭

(卒園生Rさんが書いた似顔絵)



2013年3月9日、若草園卒園式で5名の子ども達を社会人として送り出しました。一人ひとりの卒園生は自らの生き立ち、様々な事情から入所する事となり、住み慣れた家族・家庭から離れて若草園での生活がはじまりました。職員との出合や、新しく転校する事となった学校や先生・友達との人間関係の中で葛藤しながら、新しい人間関係つ.な.が.り.が築きはじめられたかの日。長い者で14年3ヶ月、短い者でも7年8ヶ月。その在園生活の中で自らの成長に自信をもち、一人ひとりが、関わって下さった園の職員や先生達へ感謝の気持ちを伝えながら、就職・進学之道に一步を踏み出しました。

この感動的な卒園式に参加し、——子どもの意志を尊重しつつ、子どもの成長と発達を育み、自己実現と自立のために——という使命を果たす為に、献身的に日々関わっている職員集団と、全ての関係者のつ.な.が.り.、連携があればこそと感謝しました。

昨年、皆様のご協力の中で創立55年記念事業を進めさせて頂きました。そのひとつの柱に四万十市竹島出身で我が国児童養護の先駆者「佐竹音次郎」の功績に学び、顕彰する活動がございます。2014年5月が氏の生誕150年の節目の年であり、地元関係者のご理解とご協力のもと記念事業ができればと考えております。ご提案、ご意見などをおよせ下さるようお願い申し上げます。

子どもに関するご相談は…
児童家庭支援センター
わかくさ
Tel(0880)33-0258

24時間365日無料



若草園平成25年度

職員体制

新たな1年をこのメンバーで取り組んでいきます。どうぞよろしく願いたします。

なお、橋村貴美子、岡崎光子、所谷路子の3名は育児休業中です。



Aホーム
瀧澤愛・和田千歩・江口雅俊



Bホーム
森田涼子・増田幸一・岡本一祥



具同ホーム（地域小規模施設）
瀧澤勝・吉永直子・柴岡里奈



Cホーム
福留久男・森初美・横山英里



Dホーム
所谷英・横山貴実子・横山智也



平野ホーム（分園・小規模グループケア）
山中亜理佐・尾崎久美子・新開力



管理棟事務室
福留久美・片山幸一・瀬戸雅弘



栄養士
上岡穂子
調理兼ベビー応援
前田チツル・植木福美



フリー
森田佳代 (FSW)・増田丈二
矢野真莉奈
(FSW:ファミリーソーシャルワーカー・家庭支援専門相談員)



ベビールーム
秋元志津
児童家庭支援センター
小島かをり・植木美和

4.1 ボーイスカウト地域奉仕活動
今回は4.10四万十の日に恒例で開催されている「四万十メモリアル・ウェディング」の会場となる、四万十川の沈下橋付近で清掃活動をしました。新郎新婦をお迎えする屋形船にも体験乗船させていただきました。



3.3 お別れ遠足
卒園生との思い出づくりに毎年この時期全員でかけます。



ことしは土佐清水市松尾の唐人駄馬園地に行きました。広く青い海、ふしぎな大きな岩。青草の広い原っぱ。晴れた空。いい思い出ができました。



ホーム対抗で長縄飛びをしました。



ALT英語ボランティア
教育委員会の外国人英語教師による交流の場が毎月持たれています。



1.27 座禅
高校入試、短大入試を控えた子どもと精神集中の修行に行きました。



2.16 子ども礼拝
教会学校を毎月、園のホールにて行っています。「こどもさんびか」を歌い、聖書の教えに耳を傾けます。



はじめまして、4月からお世話になります、矢野真莉奈と申します。不慣れな事ばかりでみな様にご迷惑をかけることが多々あると思いますが、よろしくお願いたします。子どもたちとふれあう中で子どもたちの成長を楽しみながら、自分もまた成長していきたいと思っておりますので多くのご指導をよろしくお願い致します。

矢野真莉奈



今年度より若草園で働かせて頂きます岡本一祥といひます。子ども達とたくさん遊び、時には一緒に悩みながら、子ども達の笑顔がたくさん見られる環境を作っていきたいと思ひます。また、子どもたち自身が自分の力を信じ、前向きに取り組める様に願ひを込めて、子ども一人ひとりと向き合っています。

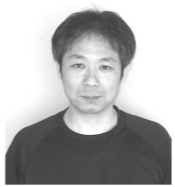
岡本一祥



近年、幡多児童相談所へ寄せられる相談件数は平成20年から一昨年の23年まで毎年上がり県内全体では平成17年の相談受付件数が約2200件であったのが23年には2700件を越えている状況と聞いております。そして社会や家庭内での子どもを育てる環境の変化による問題性などもマスキで取り上げられています。そんな中で生活養護を重要と考え、日々の暮らしの中で子ども達の成長を見守る若草園で子ども達の将来の選択肢を増やすために少しでもお役に立ちたいと考えておりますので、どうぞ宜しくお願ひ致します。

3月から勤務させて頂いております、増田丈二です。私は、これまで高知県内、他の児童養護施設や障害児施設などで従事してきました。

増田丈二



去年の10月より若草園で子ども達と共に生活させて頂いている保育士の江口雅俊です。今年度からホームの担当になったので、子ども達と深く関わり、信頼関係を築き、気持ちに寄り添える職員となれるよう頑張ります。まだわからない事も多く、ご迷惑を掛ける事もあると思いますが、色々のご指導をよろしくお願い致します。

江口雅俊



昨年9月末より具同ホームでお世話になっております、柴岡里奈と申します。若草園に来るまでは全く違う仕事をしていましたが、自分の経験をいかし、子ども達と一緒に成長していける仕事をしたくと30歳を目前に一念発起し、若草園で働かせていただくことになりました。

柴岡里奈



新人紹介





ガーデンパーティー開催の

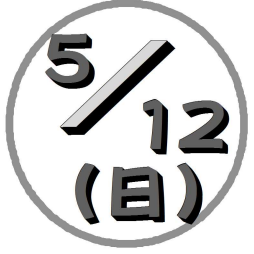
* ご案内 *



『ガーデンパーティー』は、若草園を地域の方々に開放して、毎年恒例で行われております。今年は5月12日（日曜日）午前11時30分から午後2時まで、園庭にて実施します。初夏のさわやかなこの日、みんなで縁日気分を楽しみながら、若草園の様子を見ていただける機会となればとの思いで計画しております。

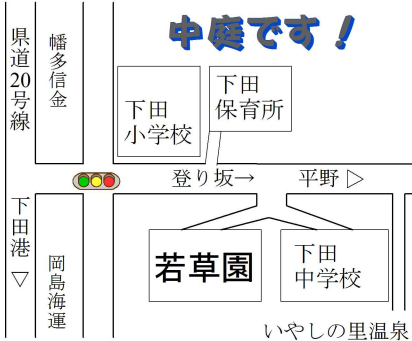
軽食の出店があります（焼そば、カレーライス、ちらし寿司、からあげ、そうめん、ドーナツ、ゼリー、ソフトドリンク、アイスクリンなど）。今年も、昨年大好評だった土佐中村一條太鼓の演奏が開会式に行われます。施設見学のよい機会ですのでお気軽にいらっしやいませ。

入場無料。雨天でも若草園の建物内で開催します。



11:30
14:00

会場は若草園の
中庭です！



〜 児家センだより 〜

昨年度1年間(平成24年4月1日〜平成25年3月31日)で、延べ合計1158件の相談に対応しました(詳しくは下表参照)。市町村からの委託事業である子育て支援短期利用事業(ショートステイ)などは38名(のべ2900日)の利用があり、地域の皆様のご理解・協力のもと、着実に「わかぐさ」の活動が広がっております。

また、今年度も、県下の児童家庭支援センターや関係機関とともにオレンジリボンキャンペーンを実施いたしますので、これからますます多くお願いいたします。

色合いが異なりますが、オレンジリボンは児童虐待防止のシンボルです



相談方法	実件数	のべ件数
電話相談	35	586
来所相談	22	273
訪問相談	21	217
心理療法等	9	59
メール相談	2	23
合計	89	1,158



編集後記



▽日本最後の清流・四万十川。そのほとりの、河口に位置する若草園。記事にもある通り、四万十川船上結婚式の舞台になったり、四万十川ウルトラマラソンのコースになったり、自然の力を活かした活動が繰り広げられている。▽下田地区から少し河上の竹島地区に保育の父・佐竹音次郎が誕生したのは今から149年前の5月10日のこと。音次郎は宣教師から聖書を読むように勧められ、やがて夫婦でキリスト教の洗礼を受けた。▽信仰の世界は目に見えるもの(形而下学(けいじかがく))ばかりではなく、目に見えないもの(形而上学(けいじじょうがく))を扱う世界だと言われている。音次郎が福祉に根ざすようになった折しも、摺んだひとつの信仰は、彼が愛情を持って子どもを育むのに、心の中の追い風となったことだろう。▽彼が親しんだ聖書にこのような有名な言葉がある。『主の教えを愛し、その教えを昼も夜も口ずさむ人。その人は流れのほとりに植えられた木。ときが巡り来れば実を結び、葉もしおれることがない。その人のすることはすべて、繁栄をもたらす。(詩編第1編)』▽何も音次郎の宗教にだけこだわることではない。この素晴らしい大自然を美しいと感じ、この流れを清々しいと思う、そのゆとりのある心が、豊かな情感を生みだし、子ども達にやさしい愛のこぼれかけをかけるきっかけにだって、なることがあるだろう。▽目には見えないが確かに存在する空気は人が生きていくために不可欠のように、目には見えないが尊いものを見つめる目を養いたいものだ。(せと)

パンフレットを希望者にお送りします▲